

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

複数の食物除去を伴う Netherton syndrome 患者に対する食物負荷試験の重要性：症例報告

1. 研究の対象および研究対象期間

2015年1月から2021年3月までに Netherton syndrome と診断され、食物アレルギーを指摘されている方

2. 研究目的・方法

Netherton syndrome はアトピー素因・曲折線状魚鱗癬・竹節状毛を3徴とする常染色体劣性遺伝の疾患であり、有病率は10万人から20万人に1人とされています。本疾患は先天的に強い皮膚バリア障害があるため、多品目に対する経皮感作がおきやすく、血液検査でIgEが高値を示すため摂取の可否を確かめることなく食物除去指導がなされる事が多い疾患です。食物アレルギーと診断され食物除去が長期間続くことにより、患者さん本人だけでなく家族のQOLも低下することが過去の文献で指摘されています。したがってより早期に除去解除することが本人だけでなく家族に対しても有効なことです。

本研究では Netherton syndrome と診断されており、食物除去を指導されている患者様を対象に当院で食物経口負荷試験を行った記録（カルテ）を使用し調査を行います。

研究期間

2015年1月～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

新たに検査を行うことは予定していません。カルテ上の血液検査値や食物除去状況といった情報を収集するのみです。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご

了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部小児科学講座 小児内科学分野 氏名：岡田 祐樹

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000

研究責任者：

医学部小児科学講座 小児内科学分野 医師・講師 岡田 祐樹